

京林大だより

No.80



絵：卒業生 熊走君

海外研修

ドイツ研修 6/1(日)～6/8(日)

京林大では、林業・木材産業の先進国から学びを得るため、2年生が現地滞在5日間の行程でドイツへ研修に行きます。みなさんはドイツと言えば、ドイツの林業と言えば、どのようなイメージを思い浮かべますか？ ドイツトウヒの森、なだらかな丘陵地、法生林……。実際に現地を見て話を聞いて、感じたり新たな学びがあったりと得るものが多い研修なのですが、ドイツにも急傾斜地の森林や獣害の問題もあることが分かりました。私たちの印象として、ドイツの森林は林内に入りやすい、心地よい空間であるということがあります。何故か？ ドイツには梅雨がありません。じめっとしていない。クモの巣がない。林床が歩きやすい。など… 私たちが訪問先で見聞きしてきたことを少しだけ紹介します。

黒い森野外博物館

「黒い森」とは、ドイツ南西部の林業地帯の森が、トウヒの密集した暗い印象から呼ばれています。昔の人が林業地帯で森林



と身近に生活していた様子を農家民家を通して感じることができます。水車で動く製材機も動かしていただきました。

フライブルク市営林署

市に営林署があり森林官(フォレスター)が5,000haの森林を経営管理しています。森林官はシカ害対策として狩猟も行います。



ドイツでは、①木材利用、②レクリエーション、③環境保護の機能を全ての森林に維持していくという考え方を持っています。

林業機械作業現場

日本にはない程大きいハーベスタとフォワーダが動く現場を見せていただきました。ドイツの所有形態は州有林、市有林、民有林です。こ



ちらは州有林。ドイツでは大半を公的管理が占めているようです。

ロッテンブルグ林業大学

2,500haの演習林にて経営・管理されてきました。地球温暖化に対応する研究の一部も教えていただきました。2100年、ドイツは少



雨、乾燥の問題が深刻という予測、対してオーク(ナラ)は比較的耐性があるとの調査結果でした。

雨量を初め条件の異なる地の林業を見て、そのまま日本に取り入れることは難しいですが、森林に対する向き合い方や目指す姿、一般の方と森林の関係性など参考にしたい要素もたくさんありました。学生それぞれのこれからの「林業」にきっと影響を与えることと思います。

今月の授業参観

『森林科学1』

1年生の森林科学は、座学で仕組みを学習し、現地で実物を見て確認するスタイルです。

森林生態学は5月中旬に京都大学芦生研究林長石原和恵先生の講義を受けました。そして5月28日（水）同研究林の宮城祐太技術職員の解説で京都大学芦生研究林を歩きました。

多雪地帯に適合した芦生スギの姿、シカ被害が「ある時」「ない時」の違いなど、芦生研究林で1日を過ごしました。

宮城さんは京林大の卒業生（4期生）です。

休憩タイムも就職後の研究林の仕事から、学生時代の思い出まで、1年生との話は尽きません。



『伐木・造材実習1』

伐木・造材作業には多くの危険が伴いますが、安全な作業のためには確かな基礎知識と技術が欠かせません。

京林大では1年生のうちに、その基礎をしっかりと身に付けることを目標としています。

実習では、チェーンソーの取扱いをはじめ、造材位置の目印位置測定や造材といった一連の作業の基礎を習得することを目的としています。

今回は実際の立木ではなく、練習用丸太を使った作業ではありましたが、斜面での実習に学生たちはやや緊張した面持ちで臨んでいました。



それでも、これまで身に付けてきた技術を丁寧に確認しながら、集中して作業に取り組む姿が印象的でした。

本格的な伐木作業に向け、地道な練習を重ねていく1年生たちの成長に、どうぞご期待ください。



校長室より

校長 大下起代

6月27日、本校開校以来、特別教授に就任いただいている一般社団法人日本農福連携協会会長理事の皆川芳嗣特別教授（元林野庁長官・元農林水産事務次官）に特別講義をしていただきました。

講義では、「森林・林業・木材産業の現状と対応状況」というタイトルで、生産性の向上や国産材需要拡大・利用促進の取組状況等について、ドイツ林業の話も交えながら御教示いただきました。講演後は、車座の交流会形式とし、講義を受けての学生からの質問に対して、皆川特別教授から1つ1つ丁寧に回答いただきました。

日本の農林水産行政の中核で林業に関わり、今もなお第一線で活躍されている方と直接意見交換をすることができ、学生にとって大変有意義な特別講義となりました。

皆川特別教授より学生に向けて、「デジタル化林業に変えていくのは、まさに皆さんの世代。当たり前を乗り越えて若い力で変えていって欲しい。」「森林を守るために多くの人がどういった苦勞をされているか知らない人が多い。森林に関わる人がしっかり関与し、折に触れ積極的に発信していくことが大切。皆さんは、その距離を縮める最前線にいる。」とエールをいただきました。

この6月は、日々の授業で得た技術や知識の他にドイツ研修や皆川特別教授からのエール等、多くの気づきと学びがありました。



オープンキャンパス2025&学校説明会を開催します

『オープンキャンパス2025』

毎年夏に開催しているオープンキャンパスを今年度も実施します。多くのご参加をお待ちしております。

日時：令和7年7月26日（土）

13:00～15:30

内容：林業大学校の紹介、高性能林業機械等実演、個別相談コーナーなど

『学校説明会』

学校説明会を次のとおり開催します。

①令和7年8月9日（土）

10:00～11:00

内容：WEBによる学校紹介

②令和7年8月9日（土）

13:00～15:00

内容：林業大学校の紹介、個別相談コーナー など

※事前に申し込みが必要となります。

※詳細は林大HPをご覧ください。